

株主通信 vol.42

RYOWA REPORT

空気と水のテクノロジー

第72期 業績のご報告

2020年4月1日～2021年3月31日

- 1 ごあいさつ／トップインタビュー
- 4 中期3か年事業計画
- 5 テクノ菱和の技術の紹介
- 6 施工実績
- 7 連結財務情報
- 9 会社概要／株式の状況



株式会社テクノ菱和
代表取締役社長執行役員

黒田 英彦
Hidehiko Kuroda

はじめに、新型コロナウイルス感染症に罹患されたみなさまと、感染拡大により生活に影響を受けているみなさまに心からお見舞いを申し上げますとともに、感染拡大防止にご尽力されているみなさまに深く感謝申し上げます。

さて、テクノ菱和グループは、このたび第72期（2020年4月1日から2021年3月31日）の決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

経営理念

「空気と水のテクノロジー」を通じて
環境にやさしい生活空間の創造を目指す。

環境エンジニアリングを中核事業とし、
ひろくお客様から「信頼」される企業を目指す。

人材の育成・教育を重視し
働き甲斐のある企業を築き、社会に貢献する。

行動規範三訓

逞しい心身の鍛錬

意志疎通の徹底

技術力の研鑽

Q 当期の建設業界を取り巻く環境は
いかがでしたか？

A 当期のわが国経済は、期初の新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の停滞を受け、内需、外需ともに大幅な落ち込みを見せるなど、景気は一旦大きく後退し、一度は持ち直しの動きが見られましたが、年が明けてからの緊急事態宣言再発令を受けて、年度末にかけて再び弱い動きとなりました。

建設業界におきましては、公共投資は、政府の経済対策により前年度と比べ増加いたしました。設備投資は、企業収益の悪化や景気の先行き不透明感の高まりにより、年度前半の減少幅が大きかったことから、受注環境は厳しい状況となりました。

Q 当期の業績はいかがでしたか？

A 当社グループの連結業績は受注高56,187百万円、売上高54,871百万円、営業利益1,709百万円、経常利益2,128百万円、当期純利益1,234百万円となりました。

当期における受注状況は、企業の設備投資需要が低調に推移したことから、前年を下回る結果となりました。利益につきましても、当期の受注高が減少したことや完成が次期に繰り越された工事が多かったことにより売上高が減少したことから、前年に比べ減益となりました。

	当期（百万円）	前期（百万円）
受 注 高	56,187	57,933
売 上 高	54,871	60,926
営 業 利 益	1,709	4,263
経 常 利 益	2,128	4,505
当 期 純 利 益	1,234	2,927

（注）本報告書において、当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を指します。

Q 中期3か年事業計画について
教えてください。

A このたび、当社グループは「中長期経営ビジョン2023」の基本方針を踏まえ、来期を初年度とする中期3か年事業計画（2021年度～2023年度）を策定いたしました。

具体的な方針としては、激化する競争環境へ対応するため、医薬品・食品・電子デバイス関連をはじめとする産業設備を中心に、バランスのとれた受注を推進するとともに、技術の継承による設計・積算・施工技術の一層の向上に取り組んでまいります。さらに、DX推進による企業競争力の強化を進めるとともに、既存の業務を見直すことで、働き方改革の推進にも取り組んでまいります。また、ESGへの取り組みの深化を基本方針に掲げ、低炭素社会や脱フロンの実現に向けた取り組みを実施してまいります。

Q 来期の方針を教えてください。

A 来期は新たに策定した中期3か年事業計画の初年度となる重要な1年であります。新型コロナウイルス感染症の影響がどこまで続くのか、全く見通しが立たない状況ではありますが、目標達成に向けて、受注確保に努めるとともに、新たな施策にも取り組んでいかなければなりません。

そこで来期は、「最先端の技術を活用、DXを推進しもう一歩前に進もう」をスローガンに掲げ、最先端の技術を積極的に取り入れることで、企業競争力の強化を図るとともに、中期3か年事業計画に掲げた各方針に取り組んでまいります。また、それぞれの方針を効率的に実行するための取り組みとして、デジタル技術の活用を推進するための社内体制の構築や計画の策定に着手いたします。

Q 来期の業績見通しを教えてください。

A 今後のわが国経済は、緩やかに持ち直しの動きが続くものと思われませんが、今後の感染症の流行状況は依然として不透明感が漂っており、ワクチンの普及にも遅れが見られることから、コロナ禍以前の状況に回復するには相当な期間を要するものと思われます。

建設業界におきましては、公共投資は前年並みで推移するものと思われ、設備投資は、前年の落ち込みの反動から回復傾向が見込まれますが、感染症の状況によっては、再び大きく減少することも考えられ、予断を許さない状況が続くものと思われます。

このような状況を踏まえ、来期の連結業績見通しにつきましては、受注高59,000百万円、売上高58,000百万円、営業利益2,100百万円、経常利益2,300百万円、当期純利益1,500百万円を見込んでおります。

	来期予想 (百万円)
受 注 高	59,000
売 上 高	58,000
営 業 利 益	2,100
経 常 利 益	2,300
当 期 純 利 益	1,500

Q 株主のみなさまへのメッセージをお願いします。

A 昨年から続く新型コロナウイルス感染症の流行により、緊急事態宣言の発令と解除が繰り返されており、景気回復の糸口が見つからない状況が続いておりますが、一方で、コロナ禍の効果として、業務の効率化・デジタル化が進んでおり、今後もその動きは加速していくものと思われます。当社グループにおきましても、昨年よりWEB会議やペーパーレス会議システムなどを本格的に活用することとなり、費用・時間ともに大きく削減することができましたが、今後もこうした時代の流れに遅れることなく、積極的にデジタル技術を取り入れることで、生産性の向上に取り組んでまいります。

なお当期の期末配当金につきましては、業績ならびに今後の事業展開等を勘案いたしました結果、1株につき16円とし、年間では前期より6円減配となる1株につき28円とさせていただきます。

当社グループのより一層の発展に向けて、全力で取り組んでいく所存でございますので、株主のみなさまにおかれましては、今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

基本方針

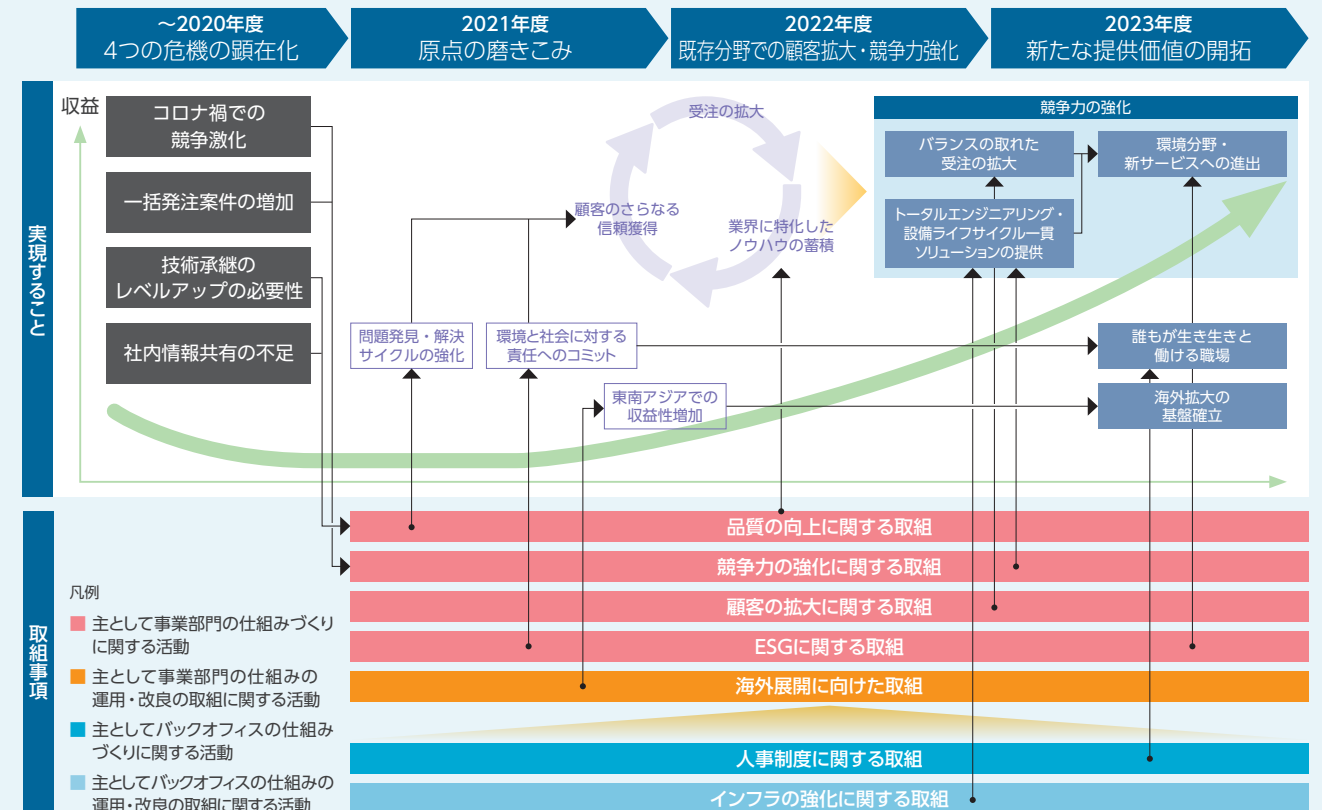
- 1 激化する競争環境への対応
- 2 働き方改革の一層の推進
- 3 ESGへの取り組みの深化
- 4 環境ビジネスへの挑戦
- 5 海外事業の足場固め

最終年度2023年度(第75期)数値目標

	単体ベース	連結ベース
①総売上高	580億円	635億円
②経常利益	23億円	26億円
③1人あたり売上高	6,700万円	
④1人あたり経常利益	265万円	
⑤人員	867人※	

※有期契約社員を含む

中期3か年事業計画における成長シナリオ - 時間軸を含めた成長シナリオ -





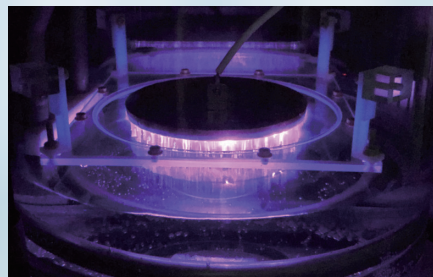
テクノ菱和の技術の紹介

私たちテクノ菱和は「空気と水のテクノロジー」を基本理念として、お客様のニーズに応える最適な環境システムの提供を目指し、新しい技術の研究開発に取り組んでおります。今回はそのなかから、当期に開発した「プラズマ除菌水」生成技術についてご紹介いたします。

研究開発 プラズマ除菌水の生成技術

依然として新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、当社は微生物などに対して効果がある「プラズマ除菌水」生成技術を開発いたしました。この技術は水にプラズマを照射することで、アルコール除菌水と同等の殺菌効果があるラジカルを生成できるものであります。今後は除菌空調や除菌手洗い機器としての実用化を目指し、さらなる研究開発を進めてまいります。

- 除菌空調用：室内空気の除菌および空調機内部の除菌用として利用可能です。
- 除菌手洗い：薬品を一切使用しないため、何度使用しても手荒れの心配がありません。



プラズマ照射



手洗い用試作機



手洗いしていない手

プラズマ除菌水に浸した手



当社より書籍を発売しました！

半導体・液晶製造、医薬品製造等の先端産業の静電気対策に携わる著者が、静電気の基礎から対策全般までの広範囲な知識を習得できるように、平易に詳細に説明しています。

書籍名：「クリーンルームにおける静電気対策」
著 者：株式会社テクノ菱和 鈴木政典
発 行：日刊工業新聞社
A5判・168頁・定価2,750円（税込）

施工実績

ローム・アポロ株式会社 筑後工場SiC新棟



本物件は、電気自動車や産業機器における省電力化のキーデバイスとして期待される「SiCパワーデバイス」の生産能力強化のため、新たに建設された半導体工場であります。建物には排熱を有効活用した高効率の空調設備をはじめ、さまざまな省エネルギー技術が導入されており、環境へ配慮した設備設計となっております。

概要	
完成年月	2021年3月
施 工 地	福岡県筑後市
建物用途	半導体工場
物件形態	地上5階
工事範囲	空調・ユーティリティー・電気・消火設備工事

土浦市立学校給食センター



本物件は、市内2か所で運営していた学校給食センターを統合し、新たに建設された施設であり、1日当たり最大12,000食の調理と、食物アレルギーに配慮した給食の提供を可能としております。また、2階には見学スペースや研修室が設けられており、地域の食育の場としての役割も担っております。

概要	
完成年月	2020年5月
施 工 地	茨城県土浦市
建物用途	学校給食センター
延床面積	4,901.14㎡
物件形態	地上2階
工事範囲	空調・衛生・消火設備工事

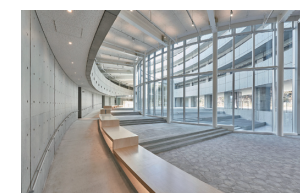
Achievements

多摩美術大学 多摩美オリーブ館



本物件は、同校八王子キャンパスの隣接地に建設された女子学生寮であり、建物内の風通しや採光に配慮した施設となっております。施設内には寮生のコミュニケーションや思索の場として、ダイニングやラウンジなどの共用スペースが備えられ、寮生が快適に過ごせる空間設計となっております。

概要	
完成年月	2020年12月
施 工 地	東京都町田市
建物用途	学生寮
延床面積	6,573.82㎡（駐輪場含む）
物件形態	地上5階
工事範囲	空調・衛生設備工事



コニカミノルタ高槻サイト北棟



本物件は、同社の強みである画像IoT・AI技術とそれらの高速処理技術を活かした事業創出、技術開発の本格的展開のため、JR高槻駅にほど近い研究開発拠点である高槻サイトに新たに開設された施設であります。建物は環境負荷軽減を考慮した設備となっており、建築物の環境性能評価システムであるCASBEEのSランクを取得しています。

概要	
完成年月	2020年8月
施 工 地	大阪府高槻市
建物用途	事務所
延床面積	11,897.71㎡
物件形態	地上4階
工事範囲	空調・給排水衛生設備工事

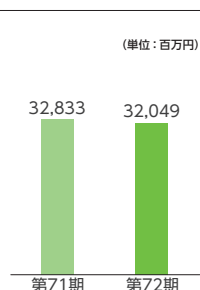
受注高	売上高	経常利益	当期純利益
56,187百万円 ＜前期比 3.0%減＞	54,871百万円 ＜前期比 9.9%減＞	2,128百万円 ＜前期比 52.7%減＞	1,234百万円 ＜前期比 57.8%減＞



産業設備工事

57.0% 32,049百万円

当期は、医薬品関連施設を中心に受注量を確保したものの、企業の設備投資需要が低調に推移したことから、前期比では受注量は減少いたしました。今後も当社の得意とする産業設備工事を中心にバランスのとれた受注を推進するとともに、ライフサイクル貫ソリューションビジネスを実践し、お客様との関係強化に努めてまいります。



電気設備工事

4.5% 2,540百万円

連結子会社の松浦電機システム株式会社が、発電設備、太陽光発電やLED照明などの省エネルギー技術の提案・施工・メンテナンスを実施しております。



冷熱機器販売

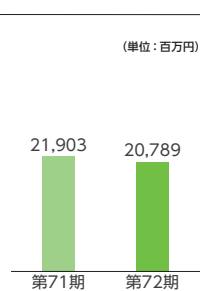
1.5% 808百万円

設備工事に関する空調機器等の販売を行っております。

一般ビル設備工事

37.0% 20,789百万円

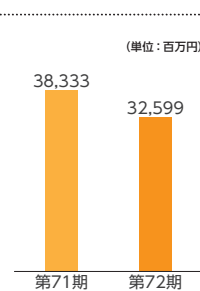
当期は、官庁工事の受注が好調に推移したものの、全体としては前年を下回る結果となりました。今後も継続的な設備の更新需要を取り込むとともに、学校や病院をはじめとするインフラ需要にも対応し、受注量の確保に努めてまいります。



設備改善工事

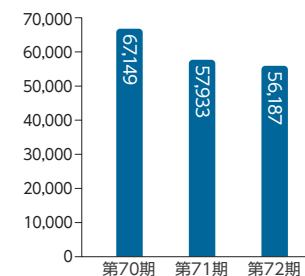
58.0% 32,599百万円

施設のロングライフ化に貢献するメンテナンス工事と経年劣化した設備の機能回復や、より効率的なシステムへの見直しを図るリニューアル工事を中心とした事業分野です。



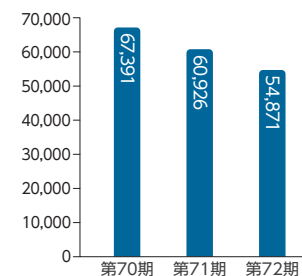
受注高の推移

(単位：百万円)



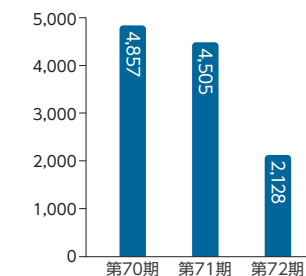
売上高の推移

(単位：百万円)



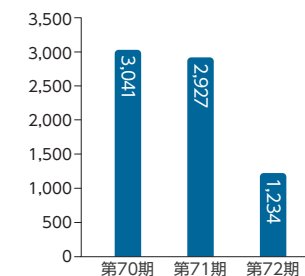
経常利益の推移

(単位：百万円)



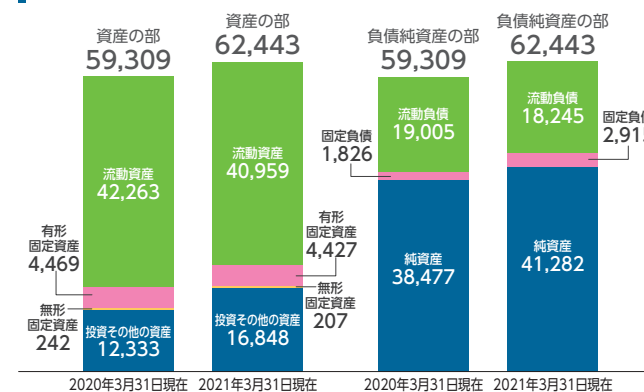
当期純利益の推移

(単位：百万円)



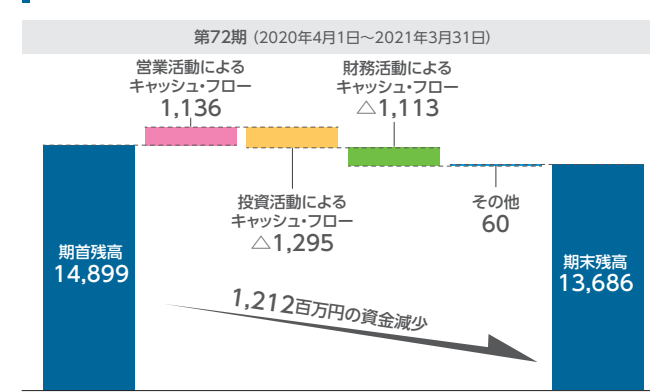
貸借対照表の概要

(単位：百万円)



キャッシュ・フローのポイント

(単位：百万円)



財務のポイント

資産の部

流動資産における受取手形・完成工事未収入金等の減少24億円、固定資産における投資有価証券の増加23億円、退職給付に係る資産の増加17億円を主な変動要因として、前期末と比較して31億円増加し、624億円となりました。

負債の部

流動負債における工事損失引当金の増加4億円、未成工事受入金の減少8億円、固定負債における繰延税金負債の増加10億円を主な変動要因として、前期末と比較して3億円増加し、211億円となりました。

純資産の部

その他有価証券評価差額金の増加16億円、退職給付に係る調整累計額の増加9億円を主な変動要因として、前期末と比較して28億円増加し、412億円となりました。自己資本比率は前期末と比較して1.2ポイント上昇し、66.1%となりました。

キャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益の計上による資金増加20億円、未成工事受入金の減少による資金減少8億円、配当金の支払による資金減少7億円を主な変動要因として、現金及び現金同等物は前期末と比較して12億円減少し、136億円となりました。

詳しい情報はウェブサイトへ



テクノ菱和 検索

会社概要（2021年3月31日現在）

商 号	株式会社テクノ菱和 (英文表記 TECHNO RYOWA LTD.)
設 立	1949年12月23日
資 本 金	2,746,800,000円
上 場	東京証券取引所市場第二部
従 業 員	725名（連結848名）
本 社	東京都豊島区南大塚2丁目26番20号
登記上の所在地	東京都港区芝大門2丁目12番8号

事業内容 当社グループは、産業用空調、冷暖房、給排水、衛生、電気設備等の設計・施工管理といった設備工事業ならびにそれらに付帯する業務を行っております。お客様のビジョンの実現に向けた計画提案、設計、施工、設備診断、アフターメンテナンスといったワンストップサービスを通じて、お客様を総合的にサポートしてまいります。

- 産業設備関連事業

■一般ビル設備関連事業

■電気設備工事業

■冷熱機器販売事業
- 太陽光発電事業

■不動産賃貸事業

■保険代理業

■建設資材製造販売業

主な事業所

技術開発研究所(神奈川県横浜市)	名古屋支店(愛知県名古屋市)
東京本店(東京都豊島区)	静岡支店(静岡県静岡市)
千葉支店(千葉県千葉市)	大阪支店(大阪府大阪市)
茨城支店(茨城県土浦市)	中国支店(岡山県倉敷市)
北関東支店(埼玉県さいたま市)	九州支店(福岡県福岡市)
東北支店(宮城県仙台市)	海外事業部(東京都豊島区)
横浜支店(神奈川県横浜市)	

役員（2021年6月25日現在）

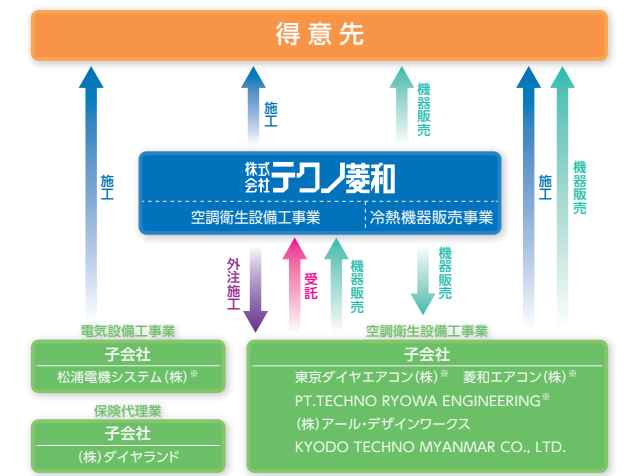
取締役	
代 表 取 締 役	黒 田 英 彦
取 締 役	星 野 宏 一
取 締 役	加 藤 雅 也
取 締 役	大 石 勉
取 締 役(社外)	武 田 公 温
取締役常勤監査等委員	雑 賀 純 二
取締役監査等委員(社外)	小 坂 井 千 春
取締役監査等委員(社外)	飯 高 弘 史 郎

執行役員

社 長 執 行 役 員	黒 田 英 彦
専 務 執 行 役 員	星 野 宏 一
常 務 執 行 役 員	加 藤 雅 也
上 席 執 行 役 員	黒 田 長 憲
上 席 執 行 役 員	窪 和 敏
上 席 執 行 役 員	福 士 富 三
上 席 執 行 役 員	大 石 勉 博
上 席 執 行 役 員	袴 田 一 博
執 行 役 員	鈴 木 俊 夫
執 行 役 員	齋 藤 吉 信
執 行 役 員	伊 豆 丸 暢
執 行 役 員	堀 下 浩 浩
執 行 役 員	武 石 義 人
執 行 役 員	武 田 和 夫
執 行 役 員	水 野 則 康

企業集団の状況 ※連結子会社

東京ダイエアコン株式会社※	株式会社アール・デザインワークス
所 在 地 東京都新宿区	所 在 地 大阪府大阪市
主要な事業の内容 空調衛生設備工事業	主要な事業の内容 空調衛生設備工事業
菱和エアコン株式会社※	株式会社ダイヤモンド
所 在 地 愛知県名古屋市中	所 在 地 東京都港区
主要な事業の内容 空調衛生設備工事業	主要な事業の内容 保険代理業
松浦電機システム株式会社※	KYODO TECHNO MYANMAR CO., LTD.
所 在 地 大阪府守口市	所 在 地 ミャンマー連邦共和国
主要な事業の内容 電気設備工事業	主要な事業の内容 建設資材製造販売業
PT.TECHNO RYOWA ENGINEERING※	
所 在 地 インドネシア共和国	
主要な事業の内容 空調衛生設備工事業	



株主優待制度のお知らせ

当社株式を決算期末日に100株以上ご所有の株主様に静岡の新茶をプレゼントいたします。

ご優待品「特選茶」

ご所有株式数1,000株以上	静岡の新茶2パック贈呈
ご所有株式数100株以上1,000株未満	静岡の新茶1パック贈呈

株式の状況

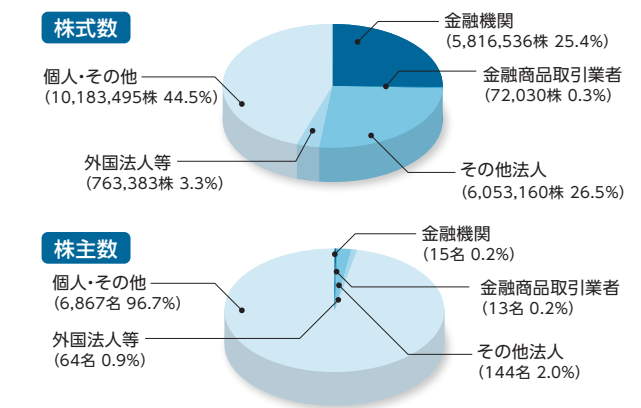
発行済株式の総数	22,888,604株
当期末現在の株主総数	7,103名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
テクノ菱和取引先持株会	2,287	10.5
三菱重工サーマルシステムズ株式会社	1,424	6.5
株式会社三菱UFJ銀行	1,071	4.9
株式会社みずほ銀行	1,071	4.9
東京海上日動火災保険株式会社	906	4.1
株式会社名古屋銀行	738	3.3
明治安田生命保険相互会社	734	3.3
株式会社京葉銀行	723	3.3
テクノ菱和従業員持株会	692	3.1
近重 次郎	672	3.0

※ 当社は、自己株式1,116,738株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式の分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711（通話料無料） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単 元 株 式 数	100株
公 告 掲 載 U R L	https://www.techno-ryowa.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)
諸 手 続 き お 問 い 合 わ せ 先	【住所変更、買取請求その他各種手続きについて】 ●証券会社をご利用の株主様 お取引の証券会社等にお問い合わせ下さい。 ●特別口座に記録された株式をご所有の株主様 特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせ下さい。 【未受領の配当金について】 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するマイナンバー制度のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きの際に必要となります。なお、株式に関するマイナンバーの詳細につきましては、口座を開設されている証券会社等へお問い合わせ下さい。

特別口座をご使用の株主様へ お早めに株式をお振替え下さい

特別口座に記録されている株式は、証券市場での売買を行うことができません（単元未満株式は除く）。また、特別口座で管理されている株式は相続や贈与時のお手続きが煩雑になってしまいます。
ご所有の株式が特別口座に記録されている場合は、証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式をお早めにお振替え下さい。
詳しいお手続きにつきましては三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ下さい。

お手続き	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL:0120-232-711（通話料無料）

株式会社 **テクノ菱和**

<https://www.techno-ryowa.co.jp/>

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号
お問い合わせ TEL : 03-5978-2541



環境に優しい植物油インキ
を使用して印刷しています。

